

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト (2016)

Bibliography of the intensive group experience
and group psychotherapy in Japan : 2016

野島 一彦
跡見学園女子大学
文学部臨床心理学科
Kazuhiko Nojima
Faculty of Letters, Atomi University

坂中 正義
南山大学
人文学部心理人間学科
Masayoshi Sakanaka
Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

●「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1989)

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1969) 一付：グループ関係者 (団体) 名簿 [1982年12月現在] 福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970～1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981) 一付：同リスト [1970～1980] の追録 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト

(1982) 一付：同リスト [1970～1981] の追録九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.

- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1983) 一付：同リスト [～1982] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1983年12月現在] 福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1984) 一付：同リスト [～1983] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1984年12月現在] 福岡大学人文論叢, 16(4), 1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1985) 一付：同リスト [～1984] の追録 福岡大学人文論叢, 17(4), 775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1986) 一付：同リスト [～1985] の追録 福岡大学人文論叢, 18(4), 901-914.

- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔～1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔～1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦 1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔～1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.
- 「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832
- 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990～)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.
- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(2000) 九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.

- 神療法」に関する文献リスト (2000)
九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2001)
九州大学心理臨床研究, 21, 151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2002)
九州大学心理臨床研究, 22, 207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2003)
九州大学心理臨床研究, 23, 131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2004)
九州大学心理臨床研究, 24, 117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2005)
九州大学心理臨床研究, 25, 137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2006)
九州大学心理臨床研究, 26, 251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2007)
九州大学心理臨床研究, 27, 137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2008)
九州大学心理臨床研究, 28, 165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2009)
九州大学総合臨床心理研究, 2, 101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2010)
九州大学総合臨床心理研究, 3, 185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2011)
九州大学総合臨床心理研究, 4, 143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2012)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 9, 3-18.
- (24) 野島一彦・坂中正義 2014 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2013)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 3-25.
- (25) 野島一彦・坂中正義 2015 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2014)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 11, 5-23.
- (26) 野島一彦・坂中正義 2016 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2015)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 12, 3-23.
- 今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2016年(1月～

12月)の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練(ST)、Tグループ、ラボトリー・トレーニング、グループ・カウンセリング、健康増進セミナー、自己発見のための合宿セミナー、自己との出会いのためのグループ合宿、エンカウンター・グループ、グループ・アプローチ、Lグループ、IPR、CST、行動集団カウンセリング、ゲシュタルト療法、交流分析等が含まれる。主に<成長>、<訓練>を目的とするグループである。

2016年の概況は次のようである。単行本は、発行されなかった。研究論文は、12本で前年より増加した。学会発表(口頭発表)は、日本人間性心理学会で15本、日本心理臨床学会で27本、日本カウンセリング学会で14本、日本教育心理学会で4本、で前年より増加した。翻訳(単行本)は、発行されなかった。

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 荒井美音里 2016 大学の授業における半構成的エンカウンター・グループの事例研究 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 4, 39-50.
2. 金子周平 2016 人間性心理学におけるグループ実践家のトレーニング—序論

— 人間性心理学研究, 34(1), 73-79.

3. 鹿子田陸月 2016 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 4, 29-37.
4. 倉戸ヨシヤ 2016 人間性心理学におけるグループ実践家のトレーニング—ゲシュタルト療法を志す専門家育成の経験から— 人間性心理学研究, 34(1), 85-93.
5. 松本 剛 2016 ベーシック・エンカウンター・グループのファシリテーター研修 人間性心理学研究, 34(1), 95-101.
6. 宮崎圭子・齋藤悠里他 2016 キャリア発達をテーマにしたサイコエデュケーション・グループの効果検討～大学職員と通信制大学生との比較～ 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 12, 39-47.
7. 中村和彦 2016 Tグループにおけるトレーナー・トレーニングと次世代実践家の養成 人間性心理学研究, 34(1), 103-108.
8. 野島一彦 2016 心理ミーティングとエンカウンター・グループの比較検討 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 12, 25-28.
9. 野島一彦 2016 大学院教育におけるエンカウンター・グループのファシリテーター養成 人間性心理学研究, 34(1), 81-84.
10. 野島一彦・下田節夫他 2016 野島の37年前のエンカウンター・グループ事例の検討 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 4, 105-111.

11. 下田節夫 2016 グループから学んで—ベーシック・エンカウンター・グループで起きることとスタッフのあり方について— 人間性心理学研究, 34(1), 109-120.
12. 杉浦崇仁・吉野 薫他 2016 「PCAグループ」及び「PCAGIP法」に関する文献リスト(2015) 東亜臨床心理学研究, 15, 133-140.

C. 学会発表

1. 相原 誠・木村太一他 2016 教育現場におけるPCAGのファシリテーションに関する一考察 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 58-59.
2. 荒木史代・窪田由紀 2016 小学校における心理教育の継続効果—中学校進学者対象のフォローアップ調査の結果から— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 583.
3. 荒嶋千佳・山口豊一 2016 中学生に対するソーシャルスキル・トレーニングの実践的研究 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 580.
4. 藤川 麗・石津和子 2016 育児ストレス予防プログラム開発の試み—心理的柔軟性に焦点をあてて— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 385.
5. 藤原和政・河村茂雄 2016 保育士養成校におけるSSTの効果を高める要因の検討 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 43.
6. 太幡直也・小川一美他 2016 社会的スキルトレーニングの成果を高める要因の検討(2)—トレーニング回数による比較— 日本教育心理学会第58回総会.
7. 原田恵理子・渡辺弥生他 2016 児童生徒のコミュニケーション・トラブルの予防に向けて(3)—SSTによるいじめの抑制に関する効果の検討— 日本教育心理学会第58回総会.
8. 橋下素美子・中村恵子他 2016 対人関係ゲームによる学級の間関係づくり(86)—学校での担任のはたらきかけによる子ども評価の変容— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
9. 桶渡由貴・遠矢浩一 2016 発達障がい児のきょうだい支援グループにおけるきょうだい児と母親の関係性の変容について 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 252.
10. 井出孝樹・内海麻美 2016 療育センターに通う子どもを対象とした学齢児グループの取り組み—3年半を振り返って— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 154.
11. 池ノ谷和 2016 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 72-73.
12. 今井美穂 2016 二つのベーシック・エンカウンター・グループの体験報告と考察 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 34-35.
13. 井ノ山正文・田上不二夫 2016 対人関係ゲームによる学級の間関係づくり(81)—学校におけるグループカウンセリングの効果— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 44.
14. 石倉 篤 2016 Tグループにおけるやりとりと体験過程の進展との相互作用

- 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 42-43.
15. 伊澤 孝・田上不二夫 2016 対人関係ゲームによる学級の間人間関係づくり(85)～適応障害の診断を受けた不登校女児の欠席がなくなるまでの経過～ 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
 16. 神山拓哉・中嶋健治他 2016 感情のコントロールに焦点化したグループワークの試み その2 (小学生) —児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)における取り組み— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 297.
 17. 姜 潤華 2016 乳幼児をもつ母親支援グループの探索的研究—PCAG仮設に基づく— 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 118-119.
 18. 菊川紗希 2016 ベーシック・エンカウンター・グループ参加体験報告～心の変容と考察～ 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 84-85.
 19. 木村真人 2016 大学生の学生相談利用を促す心理教育的プログラムの開発(2)—プログラムの提供方法の違いについて— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 575.
 20. 岸田幸弘・吉本七海他 2016 対人関係ゲームによる学級の間人間関係づくり(89)—対人関係ゲームが学級の自治的活動に与える影響— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
 21. 北原恵美・中村恵子他 2016 対人関係ゲームによる学級の間人間関係づくり(84)取り出し指導での自立活動促進による対人関係ゲームレディネスの形成 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
 22. 清澤亜希子 2016 日本におけるエンカウンター・グループ観の多様性について 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 140.
 23. 古長治基・下池洸史朗他 2016 思春期・青年期の発達障がい児・者へのグループセラピーの展開(2)—「クライエント企画」による自己の趣向性と他者の視点の統合の試み— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 230.
 24. 前田春菜・相澤亮雄他 2016 入学初期に実施したPCAGの看護教員ファシリテーター体験の分析—半構造化面接による— 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 124-125.
 25. 松本直美・伊澤 孝他 2016 対人関係ゲームによる学級の間人間関係づくり(88)～小学校1年生を対象にした学校での実体験に重ねたプログラムの実践～ 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
 26. 松澤裕子・田上不二夫 2016 対人関係ゲームによる学級の間人間関係づくり(82)—児童が安心して自分を表出できる学級集団作りへのサポート— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 44.
 27. 三浦直樹 2016 専修学校におけるエンカウンターグループのセッションの構成 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 86-87.
 28. 宮腰辰男・坂本佑馬他 2016 セクシャル・マイノリティを対象とするサポートグループの実践—臨床心理士が運営す

- るグループの立ち上げから初期までの実践報告— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 609.
29. 水野邦夫・中地展生他 2016 自発参加型の構成的グループ・エンカウンターにおけるプロセスの検討—参加者への効果の違いによる感情変化の比較— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 44.
30. 持塚弘子・田上不二夫 2016 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(87)—校内で行った選択性緘黙児へのエクスポージャーの試み— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
31. 森吉里奈・山喜義枝他 2016 発達障害児思春期グループの現状と課題—個別目標に添ったスタッフの関わり方— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 226.
32. 村久保雅孝 2016 ベーシック・エンカウンター・グループ研究におけるナラティブ・アプローチの可能性2 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 88-89.
33. 村山正治・浦野俊美他 2016 5年間の播磨PCAGIPプロジェクトの軌跡 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 68-69.
34. 長野恵子・西村麻希他 2016 県外からの避難者に対するグループ支援活動のプロセス(第4報)—東日本大震災から5年を経過して— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 263.
35. 中島真夕 2016 スクール・カウンセラーが行うPCAGIP~工夫とその効果~ 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 76-77.
36. 中村恵子・田上不二夫 2016 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(90)—うつ症状を伴う不登校生徒に対する対人関係ゲームの効果— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 45.
37. 日本カウンセリング学会(第49回) 2016 自主企画シンポジウム<「対人関係ゲーム」のさらなる可能性を求めてⅢ>日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 27.
 瀧澤洋司(企画者・司会者)
 田上不二夫(企画者・司会者)
 中村恵子(話題提供者)
 井ノ山正文(話題提供者)
 伊澤 孝(話題提供者)
 西澤佳代(話題提供者)
 田上不二夫(指定討論者)
 岸田幸弘(指定討論者)
38. 日本カウンセリング学会(第49回) 2016 自主企画シンポジウム<学級集団のアセスメントに基づいた対人関係ゲームの実践>日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 29.
 野村華子(企画者・司会者)
 木村雅宏(話題提供者)
 井ノ山正文(話題提供者)
 松本直美(話題提供者)
 木村晴美(話題提供者)
 伊澤 孝(話題提供者)
 田上不二夫(指定討論者)
39. 日本人間性心理学会(第35回) 2016 自主企画<「グループ研究会」の活動について~そのこれまでとこれから~>日本人間性心理学会第35回大会プログラ

- ム・発表論文集, 164-165.
 下田節夫 (企画者)
 野島一彦 (話題提供者)
 岡本達也 (話題提供者)
 高橋紀子 (話題提供者)
 下田節夫 (話題提供者)
 松本 剛 (指定討論者)
 吉本麻奈美 (指定討論者)
 高橋紀子 (司会者)
40. 日本心理臨床学会 (第35回) 2016
 自主シンポジウム<心理臨床の場としての
 のキャンプの可能性> 日本心理臨床学
 会第35回大会発表論文集, 624.
 渡邊智絵 (企画者・司会者)
 後藤龍太 (企画者・話題提供者)
 鈴木正貴 (話題提供者)
 平野直己 (話題提供者)
 谷崎 誠 (指定討論者)
 徳山美知代 (指定討論者)
41. 日本心理臨床学会 (第35回) 2016
 自主シンポジウム<個別面接とグループ
 活動 (継続型・宿泊型) を複合活用する
 学生相談> 日本心理臨床学会第35回大会
 発表論文集, 653.
 緒方登士雄 (企画者)
 緒方登士雄 (話題提供者)
 須賀芳枝 (話題提供者)
 中村家子 (話題提供者)
 梶田規仁 (話題提供者)
 葦名みさお (話題提供者)
 並木悠介 (話題提供者)
 高橋信平 (話題提供者)
 井上尚代 (話題提供者)
 佐川真太郎 (話題提供者)
 鳥井いおり (話題提供者)
 福留留美 (指定討論者)
42. 日本心理臨床学会 (第35回) 2016
 自主シンポジウム<ベーシック・エンカ
 ウンター・グループを主催する意味・目
 的・姿勢を巡って> 日本心理臨床学会第
 35回大会発表論文集, 654.
 下田節夫 (企画者)
 岡村達也 (企画者)
 高橋紀子 (企画者)
 下田節夫 (話題提供者)
 中田行重 (話題提供者)
 松本 剛 (話題提供者)
 野島一彦 (指定討論者)
43. 西田和典・鳥川智史他 2016 小規模
 児童相談所における集団指導の試み①—
 大学生ボランティアとレクリエーション
 を活用したプログラムの実際の工夫—
 日本心理臨床学会第35回大会発表論
 文集, 411.
44. 西澤佳代・田上不二夫 2016 対人関
 係ゲームによる学級の間関係づくり
 (83)—中山間地の小学校における全校で
 の縦割り班による対人関係ゲームの実践—
 日本カウンセリング学会第49回大会
 プログラム, 44.
45. 野坂見智代 2016 教職員に対するス
 トレスマネジメント教育としての1セッ
 ションの統合的ヨーガ・プログラム—日
 常での実践と非実践との比較, 特に活用
 時のストレス・気分に与える影響— 日
 本心理臨床学会第35回大会発表論文集,
 117.
46. 小川一美・太幡直也他 2016 社会的
 スキルトレーニングの成果を高める要因
 の検討(3)—トレーニング回数と評価に
 着目して— 日本教育心理学会第58回総
 会.

47. 大豆生田千夏・伊志嶺美津子他 2016 子育て支援施設における乳児の親グループプログラム—早期に不安や悩みを軽減し仲間とつながるために— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 259.
48. 岡本 悠・小玉紗織他 2016 グループ表現セラピーによる専門家養成プログラムにおける参加者の変容プロセス—複線径路等至性アプローチ (Trajectory Equifinality Approach) を基に— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 394.
49. 小野京子 2016 パーソンセンタード表現アートセラピーにおける心理的成長トレーニング参加者へのインタビュー調査 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 181.
50. 大河内範子・高松 里 2016 サポート・グループの特質は何か?—膠原病サポート・グループの事例から考える— 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 36-37.
51. 大築明生 2016 夢をテーマとしたエンカウンター・グループ 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 122-123.
52. 押江 隆・藤田洋子 2016 PCAGIP法にパーソン・センタード・スーパービジョンを組み合わせた「リフレキシブPCAGIP」の開発 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 484.
53. 朴 希沙 2016 サポートグループ「A」におけるRespectful Racial Dialogueの実践—在日コリアンへの心理社会的支援に関する一考察— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 613.
54. 齋藤暢一郎・森美栄子他 2016 長期ひきこもり家族に対する集団型支援プログラムの構築—葛藤を視点とした心理教育とワークによる心理社会的効果— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 540.
55. 酒井久実代 2016 発達障害のある男子中学生へのいじめに対するサポートグループ・アプローチの効果 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 53.
56. 下池洸史朗・古長治基他 2016 思春期・青年期の発達障がい児・者へのグループセラピーの展開(1)—過度な配慮性と対人緊張の緩和に着眼して— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 229.
57. 田上不二夫・大澤靖彦他 2016 対人関係ゲームによる学級の間関係づくり(79)~実用化のための”学級集団プログラム”の事前研修会の持ち方~ 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 44.
58. 高橋淳一郎 2016 小規模校における継続的な予防的介入の効果—対人関係ゲームを用いた小規模中学校における実践— 日本教育心理学会第58回総会.
59. 高松 里・平井達也他 2016 エンカウンター・グループが目指すものは何か?—「スロー・エンカウンター・グループin沖縄」のスタッフが求めたもの— 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 104-105.
60. 鷹取眞理・後藤秀繭 2016 子育て支援における母親グループの役割と機能②—母親役割へのとらわれをめぐる課題を中心に— 日本心理臨床学会第35回大会

- 発表論文集, 260.
61. 富森 崇 2016 原発事故後の健康増進プログラムの実践(1)—ふくしまの子ども希望プラン2014年 宿泊型— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 139.
62. 鳥川智史・上松幸一他 2016 小規模児童相談所における集団指導の試み③～ソンディ・テストにおけるk的因子の評価～ 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 413.
63. 柘植順子・石田妙美 2016 エンカウンター・グループ体験直後の感想から見た継続の可能性を探る 日本人間性心理学会第35回大会プログラム・発表論文集, 139.
64. 内田圭子・中村恵子他 2016 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり(80)—対人関係ゲーム研究(2009～2011)の変遷(2)— 日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 44.
65. 山下陽平・窪田由紀他 2016 学校コミュニティの危機への支援者養成プログラムの検討(2)—プログラム内容の違いによる研修効果の比較— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 608.
66. 吉村拓美・鳥川智史他 2016 小規模児童相談所における集団指導の試み②—職員と大学生ボランティアの意識調査結果から— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 412.

D. 翻訳
〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介
〔該当文献なし〕

付：「集中的グループ経験」に関する文献リスト〔～2015〕の追録

A. 単行本
〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 村上香奈・山崎浩一 2015 ソリューション・フォーカスト・アプローチに基づくグループワークの実践とその影響—大学生への発達支援に関する質的研究— カウンセリング研究. 48(4), 218-227.

C. 学会発表
〔該当文献なし〕

D. 翻訳
〔該当文献なし〕

E. 書評
〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介
〔該当文献なし〕

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には、集団心理療法、グループ・セラピー、心理劇（サイコドラマ）、活動集団療法、集団遊戯療法、集団分析、グループワーク、治療キャンプ、集団絵画療法、音楽療法、生活技能訓練

(SST), デイケア, 治療共同体, ソーシャル・クラブ, セルフ・ヘルプ・グループ, ダンス療法, グループ運動表現療法, レクリエーション療法等が含まれる。主に<治療>を目的とするグループである。

2016年の概況は次のようである。単行本は, 2冊刊行された。研究論文は, 94本で前年より増加した。学会発表(口頭発表)は, 日本集団精神療法学会で62本, 日本心理臨床学会で8本, で前年より増加した。翻訳(単行本)は, 発行されなかった。

A. 単行本

1. 井上孝代・いとうたけひこ他編著
2016 トラウマケアとPTSD予防のためのグループ表現セラピーと語りのちから
風間書房
2. 大阪府立子どもライフサポートセンター・服部隆志・大対香奈子編 2016
このまま使える!子どもの対人関係を育てるSSTマニュアル—不登校・ひきこもりへの実践にもとづくトレーニング—
ミネルヴァ書房

B. 研究論文

1. 安部康代・田原明夫他 2016 自主
ワークショップ:東日本大震災関係者の
相互支援グループX 集団精神療法, 32
(2), 196-200.
2. 青戸由理子 2016 COLUMN:「曳
船」 集団精神療法, 32(2), 276.
3. 荒木章太郎 2016 シンポジウム:グ
ループの中で人はどのように成長するか
—うつ病りワークデイケアの場合— 集
団精神療法, 32(2), 270-276.
4. 板東充彦 2016 グルグル会 集団精

神療法, 32(1), 97-98.

5. 伊達真理子・藤江明美他 2016 2015
年度家庭支援プログラム活動報告 医療
法人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活
動報告論文集, 71-74.
6. 藤澤美穂・田原明夫他 2016 東日本
大震災関係者の相互支援グループIX~震
災から3年8ヶ月後~4年6ヶ月後の経
過~ 集団精神療法, 32(1), 52-60.
7. 後藤清恵・芳賀まゆき他 2016 テー
マセッション:入院・青年期 筋ジスト
ロフィー患者の心理サポートグループに
ついての考察—グループコミュニケーションの展開について— 集団精神療法,
32(2), 322-327.
8. 萩原加奈美・七田雅史他 2016 学習
グループ2015年度活動報告 医療法人コ
ミュノテ風と虹 2015年度臨床活動報告
論文集, 83-87.
9. 早川 洋・上野陽弘他 2016 テーマ
セッション:ソーシャル・ネットワーキ
ング・サービス(SNS)を用いた思春期
グループの取り組み—時空を超えてつな
がる試み— 集団精神療法, 32(2), 369
-376.
10. 林 公輔 2016 COLUMN:「今更
でスマセン, グループって何です
か?」 集団精神療法, 32(2), 176.
11. 樋掛 忠彦 2016 特集にあたって集
団精神療法, 32(1), 8-9.
12. 今村仁美・城後弓子他 2016 2015年
度アルコールグループ活動報告 医療法
人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活動
報告論文集, 49-52.
13. 稲永 要 2016 「第五章 心理療法
の基本原則と治療者の問題」 集団精神

- 療法, 32(1), 86-90.
14. 石川与志也 2016 『ジョークグループ』 集団精神療法, 32(1), 81.
 15. 石川見佳 2016 テーマセッション：コ・コンダクター, コンダクターの経験から思うこと—「私」を振り返って. 変化・葛藤・成長— 集団精神療法, 32(2), 301-305.
 16. 伊藤明美・濱島 努他 2016 テーマセッション：対人緊張が非常に強く, 寡黙な人達を対象としたグループ—安心できる居場所作り— 集団精神療法, 32(2), 306-311.
 17. 岩垂喜貴・村上 健他 2016 大会企画ワークショップ：大会企画「この学会をやめようと思ったことはありませんか？」を担当して—「ブラックグループ」体験を通じて考えたこと— 集団精神療法, 32(2), 177-182.
 18. 門眞一朗 2016 特別講演 I：あたしたち研究—集団に括らない生き方—第2部 徒党の人よりも孤高の人 集団精神療法, 32(2), 140-142.
 19. 甲斐千穂・後田純子他 2016 2015年度「薬物依存症グループ」活動報告 医療法人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 56-59.
 20. 鍛冶美幸 2016 身体としての集団・集団における身体—集団精神療法としてのダンス/ムーブメント・セラピー— 集団精神療法, 32(1), 31-38.
 21. 鴨澤あかね 2016 システムで考え, システムに働きかける 集団精神療法, 32(1), 17-23.
 22. 鴨澤あかね 2016 自主ワークショップ：日本におけるSCT (Systems-Centered Therapy/Training) 実践の課題—ワークショップ参加者の体験の検討を通じて— 集団精神療法, 32(2), 207-212.
 23. 加藤隆弘 2016 日本での集団精神療法実践における「先生転移」の功罪 (序論) 集団精神療法, 32(1), 45-51.
 24. 菊地寿奈美 2016 福島県でのスクールカウンセラーとしての体験 集団精神療法, 32(1), 76-81.
 25. 菊池清美・大川稚衣他 2016 2015年度ウイメンズグループ活動報告 医療法人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 64-66.
 26. 木村能成・那須里絵他 2016 テーマセッション：活動集団療法における子どもの「屈折した甘え」とその変化過程 集団精神療法, 32(2), 318-321.
 27. 小針英一郎・久保夏子他 2016 事例検討：グループの開拓—ピアサポーターがコンダクターを行うコミュニティ— 集団精神療法, 32(2), 297-300.
 28. 古賀恵里子 2016 日本精神分析学会第61回大会に参加して 集団精神療法, 32(1), 95-96.
 29. 古賀恵里子 2016 海外文献紹介：羅生門再考—映画の再分析と群集心理学に与える意味合い— 集団精神療法, 32(2), 377-381.
 30. 古賀禎也・馬郡芳弥他 2016 2015年度ギャンブルグループ活動報告 医療法人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 92-96.
 31. 木幡明美・高橋雅子他 2016 テーマセッション：児童精神科病棟家族会の効

- 果について一明るく変化した母親の一事例— 集団精神療法, 32(2), 328-332.
32. 小道モコ 2016 特別講演 I : あたしたち研究—集団に括らない生き方—第一部 自閉スペクトラム症 あたし研究 集団精神療法, 32(2), 137-139.
33. 小道モコ・門眞一郎 2016 特別講演 I : あたしたち研究—集団に括らない生き方—第3部 対談 あたしたち研究 II Harry-on-the-merry-go-round 集団精神療法, 32(2), 143-146.
34. 小谷英文 2016 追悼 アメリカ集団精神療法絶頂期を生きたHoward D. Kibel, M.D., CGP, DLFGPA 集団精神療法, 32(2), 392-393.
35. 栗田彩加・村山裕紀 2016 クリニック(グループ療法) 福岡県立大学心理臨床研究, 8, 77-80.
36. 三好真人 2016 臨床家がセルフヘルプ・グループにクライアントを紹介するプロセスの検討 心理臨床学研究, 34(3), 329-334.
37. 森 智秀・小柳大輔他 2016 2015年度ゲーム・ネット依存グループ活動報告 医療法人コミュノテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 101-105.
38. 室城隆之 2016 自主ワークショップ: TA・ゲシュタルト療法ワークショップ—集団精神療法としてのTA・ゲシュタルト— 集団精神療法, 32(2), 261-267.
39. 長江朱夏 2016 テーマセッション: 法人研修としての音楽療法—音楽活動を通じたグループワークとメンタルケア— 集団精神療法, 32(2), 350-356.
40. 中本智恵美 2016 テーマセッション: 摂食障害患者のグループ療法—それぞれの変化と変わらなかったこと— 集団精神療法, 32(2), 357-361.
41. 中里容子 2016 シンポジウム: 人はグループのなかでどう成長するか?—選択制緘黙児のグループ・プレイセラピーを通じて— 集団精神療法, 32(2), 282-287.
42. 二之宮正人 2016 COLUMN: パラダイムの転換とその他に 集団精神療法, 32(2), 225.
43. 二之宮正人・福澤宏之他 2016 自主ワークショップ: 急性期病棟・外来・地域グループの実際と意義—救急および地域生活移行の動向を踏まえて— 集団精神療法, 32(2), 255-260.
44. 西川昌弘 2016 東日本大震災関係者の相互支援グループでの個人課題とグループ発達の位相~初回セッションの3位相~ 集団精神療法, 32(1), 61-71.
45. 西村勇人 2016 集団認知行動療法がうつ病の改善に及ぼす効果と効果に対する予測変数の検討 心理臨床学研究, 34(2), 133-140.
46. 西村 馨 2016 国際集団精神療法・集団過程学会第19回大会 集団精神療法, 32(1), 93-94.
47. 西村 馨 2016 「コ・コンダクター」の「コ」の意味 集団精神療法, 32(1), 30.
48. 西村 馨 2016 シンポジウム: 人はグループのなかでどう成長するか—地域でおこなう児童活動集団療法への統合的視点— 集団精神療法, 32(2), 288-293.
49. 西村 馨・木村能成他 2016 テーマ

- セッション：思春期男子のグループセラピー—別れと旅立ちのプロセス— 集団精神療法, 32(2), 362-368.
50. 西崎 淳 2016 対象関係論的アプローチの立場から 集団精神療法, 32(1), 39-44.
51. 野村静香 2016 グループと私 集団精神療法, 32(1), 38.
52. 野村 学 2016 シンポジウム：指定討論 集団精神療法, 32(2), 294-296.
53. 野中 稔・高橋 馨他 2016 自主ワークショップ：<こうえん>—そこにあるように— 集団精神療法, 32(2), 222-225.
54. 落合尚美・石附牧子 2016 テーマセッション：グループにおける疾患の多様性とその意義 集団精神療法, 32(2), 312-317.
55. 大濱伸昭・横山太範他 2016 自主ワークショップ：成人ASD (Autism Spectrum Disorder) に対する集団精神療法—SSTを中心にグループプロセスを検討— 集団精神療法, 32(2), 201-206.
56. 岡島美朗 2016 「橋をかけるために」 集団精神療法, 32(2), 125-127.
57. 小野真嗣 2016 不登校児「親の会」の援助機能回復に向けた介入 神戸学院大学心理臨床カウンセリングセンター紀要, 9, 11-16.
58. 尾子真人 2016 4年半を経て、現在感じさせられていること 集団精神療法, 32(1), 72-75.
59. 才田康成・早野文明他 2016 2015年度生活習慣改善グループ 医療法人コミュニティテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 79-82.
60. 斎藤佐智子・神宮京子他 2016 自主ワークショップ：クリエイティブ・アーツ・セラピー—五感で対話する— 集団精神療法, 32(2), 213-217.
61. 齊藤万比古 2016 特別講演Ⅱ：児童精神科における入院治療の精神療法的性 集団精神療法, 32(2), 147-156.
62. 関 百合 2016 日本においてグループアナリシスはどこまで精神療法なのか？ 集団精神療法, 32(1), 10-16.
63. 関 百合 2016 自主ワークショップ：グループアナリシス・体験グループワークショップⅥ 集団精神療法, 32(2), 218-221.
64. 関根慶輔 2016 学会印象記2：日本思春期青年期精神医学会第28回大会印象記 集団精神療法, 32(2), 390-391.
65. 重松順子・神部宏他 2016 2015年度(平成27年)うつ病の集団精神療法(Dグループ)活動報告 医療法人コミュニティテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 67-70.
66. 嶋田博之 2016 シンポジウム：食べて休めば人は育つ—システムズセンターDの視点で考える, グループと人の心の成長— 集団精神療法, 32(2), 277-281.
67. 下石直巳・鈴木稚菜他 2016 テーマセッション：不登校児が人と繋がりたいと思える児童期デイケアの取り組み—1対1から次第に集団に— 集団精神療法, 32(2), 344-349.
68. 霜村 麦・小林正幸 2016 小学生へのSSEを含めた複合的心理教育プログラムの効果に関する研究～学級全体と個別

- 児童の変化に着目して～ カウンセリング研究, 48(1), 42-51.
69. 白柿 綾 2016 COLUMN: グループを支えるもの 集団精神療法, 32(2), 254.
70. 菅谷智一・大西豊史他 2016 テーマセッション: 居場所作りを目指した活動 集団療法—自閉スペクトラム症小中学生のグループダイナミクス— 集団精神療法, 32(2), 333-338.
71. 鈴木理恵 2016 テーマセッション: デイケアのミーティンググループで続いた攻撃行動についての考察 集団精神療法, 32(2), 339-343.
72. 高林健示・小宮敬子他 2016 自主ワークショップ: コンダクターの危機—メンバーが来ない— 集団精神療法, 32(2), 232-237.
73. 高橋美紀・藤巻加奈子他 2016 自主ワークショップ: 集団精神療法としてのサイコドラマ—サイコドラマ体験ワークショップ— 集団精神療法, 32(2), 226-231.
74. 高良 聖 2016 集団精神療法における沈黙の意味～臨床事例からの考察～ 明治大学人文科学研究所紀要, 79, 177-202.
75. 高谷賢司 2016 古典文献を読む(30): グループアナリシス: 「問題ではない」ことを真剣に受け止めること 集団精神療法, 32(2), 382-387.
76. 武井麻子・小宮敬子他 2016 大会企画ワークショップ: 揺れ動く臨床現場におけるグループの挑戦—精神科病院で働く看護師たちは何ができるのだろうか— 集団精神療法, 32(2), 163-169.
77. 田代 順 2016 自主ワークショップ: ナラティブなグループアプローチを体験する(その6)—多声的対話グループによるナラティブな集団的「自例」検討の試み— 集団精神療法, 32(2), 238-244.
78. 藤堂宗継 2016 サイコドラマから考える 集団精神療法, 32(1), 24-30.
79. 藤堂信枝・高林健示他 2016 自主ワークショップ: 戦争体験のシェアリングに向けた試み 集団精神療法, 32(2), 249-254.
80. 徳永浩子・古賀禎也他 2016 2015年度ACグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 53-55.
81. 塚瀬将之・太田裕一他 2016 自主ワークショップ: 現代入院集団療法の一形態: グループの成長と初心セラピストの成長—精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会— 集団精神療法, 32(2), 245-248.
82. 鶴 泰宏・甲斐 壮他 2016 2015年度ソーシャライジングクラブ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 97-100.
83. 上田玲実・川口玲華他 2016 2015年度摂食障害グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 60-63.
84. 渡部京太 2016 大会長講演: ぐるぐるグループ 集団精神療法, 32(2), 130-136.
85. 渡部京太・相田信男他 2016 大会企画ワークショップ: 精神療法・グループの論文の書き方(のコツ) 集団精神療

法, 32(2), 183-188.

86. 渡部京太・菊池信太郎他 2016 大会企画ワークショップ：被災地はいまー福島・石巻からの報告ー 集団精神療法, 32(2), 189-195.
87. 渡部京太・小倉清他 2016 大会企画ワークショップ：私のグループ体験, そしてグループの可能性 集団精神療法, 32(2), 157-162.
88. 渡部京太・吉松和哉他 2016 大会企画ワークショップ：国府台にいる先達に聴く 集団精神療法, 32(2), 170-176.
89. 矢野夕紀・河原久人他 2016 2015年度「措置ミーティング」活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 88-91.
90. 吉野淳一 2016 集団体験の優れた再現性について 集団精神療法, 32(1), 92.
91. 吉野淳一 2016 学会印象記1：第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会/第40回日本自殺予防学会総会 集団精神療法, 32(2), 388-389.
92. 吉野比呂子 2016 COLUMN：夏の体験グループ 集団精神療法, 32(2), 356.
93. 吉岡和子 2016 グループ・ファシリテーターの養成方法の検討ー発達障がいの子どもを育てる親グループでの体験報告を通してー 福岡県立大学心理臨床研究, 8, 49-66.
94. 勇 博幸・藤安芳子他 2016 2015年度のみもの依存症グループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2015年度臨床活動報告論文集, 75-78.

C. 学会発表

1. 大濱伸昭・横山太範他 2016 自主ワークショップ：成人のASDに対する集団精神療法ーSSTを中心にグループプロセスを検討ー 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 58.
2. 荒木章太郎 2016 シンポジウム：グループの中で人はどのように成長するかーうつ病リワークデイケアの場合ー 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 95.
3. 藤澤美穂・高橋文絵他 2016 災害中長期支援者のサポートグループ第一報 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 79.
4. 福榮みか・諏訪淳哉 2016 急性期総合病院におけるグループ活動(集団精神療法)の試み③ーSST(ステップバイステップ方式)を用いた問題解決療法グループの立ち上げと1クール終えてのー考察ー 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 227.
5. 芳賀まゆき・後藤清恵 2016 入院・青年期筋ジストロフィー患者の心理サポートグループについての考察ーグループコミュニケーションの停滞についての検討ー 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 49.
6. 早川 洋・上野陽弘他 2016 ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を用いた思春期グループの取り組みー一時空を超えてつながる試みー 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 51.
7. 林 宏紀・岩垂喜貴他 2016 「ゲーム」を媒介にした小中学生男児のグルー

- プ 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 54.
8. 石川見佳 2016 コ・コンダクター, コンダクターの経験から思うこと—私を振り返って. 変化・葛藤・成長— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 75.
 9. 石附牧子・落合尚美 2016 グループ終了に際しての覚書 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 74.
 10. 伊藤明美・濱島 努他 2016 対人緊張が非常に強く, 寡黙な人達を対象としたグループ—安心できる居場所作り— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 76.
 11. 神宮京子・斎藤佐智子他 2016 自主ワークショップ: クリエイティブ・アーツ・セラピー—五感で対話する— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 63.
 12. 門眞一郎 (第1部)・小道モコ (第2部) 2016 特別講演 I: あたしたち研究—集団に拘らない生き方—Harry-on-the-merry-go-round 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 29.
 13. 門脇いづみ・早苗麻子 2016 時流に乗れないクリニックの変化を求めないグループ支援 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 41.
 14. 鴨澤あかね 2016 自主ワークショップ: 機能的サブグループで「今, ここで」を探求する 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 90.
 15. 加藤寛盛 2016 ひきこもり者への「居場所」の効果とその役割についての考察 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 82.
 16. 河合健彦・阿久澤克章他 2016 精神科病院急性期病棟における青年期患者への対応 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 50.
 17. 川合裕子・古賀恵里子 2016 治療環境においてアクションから何を学ぶことができるのか? <2>—Learning from Actionワークショップでの体験とデイケアでの体験を通して— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 86.
 18. 木幡明美・高橋雅子他 2016 児童精神科病棟家族会の効果について—明るく変化した母親の一事例— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 84.
 19. 木村能成・那須里絵他 2016 活動集団療法における子どもの「屈折した甘え」とその変化過程 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 77.
 20. 木村能成・那須里恵他 2016 活動集団療法における子ども同士のトラブルの意味—仲間同士で行われる情動調整に着目して— 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 232.
 21. 岸本沙織 2016 デイケアプログラムとしての集団認知行動療法の活用 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 414.
 22. 小針英一郎・久保夏子他 2016 グループの開拓—ピアサポーターがコンダクターを行うコミュニティミーティング— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 61.
 23. 古賀禎也・堀川百合子他 2016 逆転移を通した病的ギャンブリングの精神力動理解 日本集団精神療学会第33回大

- 会抄録集, 73.
24. 古賀恵里子・川合裕子 2016 治療環境においてアクションから何を学ぶことができるのか? <1>~Learning from Actionワークショップにおける「私」のアクションを考察する~ 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 85.
25. 工藤由佳・星野 大 2016 患者が少しずつ心の動きを取り戻し, ふたたび生き始めた病棟スモールグループ 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 66.
26. 前由記美・浅田 護他 2016 小中学生と高齢者のいる病棟におけるコミュニティ・ミーティング 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 83.
27. 水上真理子 2016 子どものグループ 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 67.
28. 室城隆之 2016 自主ワークショップ: TA・ゲシュタルト療法ワークショップ-集団精神療法としてのTA・ゲシュタルト- 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 93.
29. 長江朱夏 2016 法人研修としての音楽療法-音楽活動を通じた利用者理解とメンタルケア- 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 87.
30. 中本智恵美 2016 摂食障害患者の小グループ-それぞれの変化と変わらないこと- 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 69.
31. 中里容子 2016 シンポジウム: 人はグループのなかでどう成長するか?-選択性緘黙児のグループ・プレイセラピーを通じて- 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 97.
32. 那須里絵・西村 馨 2016 思春期女子における活動集団療法の初期過程-活動を媒介物とした関係性構築の過程- 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 43.
33. 那須里恵・岡本美穂他 2016 思春期女子のグループセラピーの初期段階-対話を生み出す関係性の始まり- 日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 231.
34. 日本カウンセリング学会 (第49回) 2016 自主企画シンポジウム<学校現場にソーシャルスキルトレーニングを効果的に導入するには一般化を促進する方略に焦点を当てて->日本カウンセリング学会第49回大会プログラム, 30.
新川広樹 (企画者)
二瓶正登 (企画者)
富家直明 (司会者)
二瓶正登 (話題提供者)
金山裕望 (話題提供者)
新川広樹 (話題提供者)
本田真大 (指定討論者)
35. 日本集団精神療法学会 (第33回) 2016 大会企画ワークショップ: 精神療法・グループの論文の書き方 (のコツ) 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 33.
藤 信子 (司会者)
関 百合 (司会者)
相田信男 (話題提供者)
生地 新 (話題提供者)
白波瀬丈一郎 (話題提供者)
高良 聖 (話題提供者)
36. 日本集団精神療法学会 (第33回) 2016 大会企画ワークショップ: 国府台にいる先達に聴く 日本集団精神療法学会第33回大会抄録集, 35.

- 大西豊史 (司会者)
渡部京太 (司会者)
吉松和哉 (話題提供者)
37. 日本集団精神療学会 (第33回) 2016
大会企画ワークショップ：私のグループ
体験，そしてグループの可能性 日本集
団精神療学会第33回大会抄録集，36.
岡田暁宜 (司会者)
森岡由起子 (司会者)
渡部京太 (司会者)
浅田 護 (話題提供者)
小倉 清 (話題提供者)
奥村雄介 (話題提供者)
富田 拓 (話題提供者)
38. 日本集団精神療学会 (第33回) 2016
大会企画ワークショップ：和洋女子大学
との協働ワークショップ被災地はいま—
福島・石巻からの報告— 日本集団精神
療学会第33回大会抄録集，37.
田口久美子 (司会者)
渡部京太 (司会者)
菊池信太郎 (話題提供者)
堀 有伸 (話題提供者)
杵沢はつ子 (話題提供者)
川田知宏 (話題提供者)
川嶋初子 (話題提供者)
杉浦 裕 (話題提供者)
小谷英文 (コメンテーター)
渡辺久子 (コメンテーター)
39. 日本集団精神療学会 (第33回) 2016
自主ワークショップ：急性期病棟・外
来・地域グループの実際と意義—救急お
よび地域生活移行の動向を踏まえて—
日本集団精神療学会第33回大会抄録
集，92.
二之宮正人 (企画者)
- 福澤宏之 (話題提供者)
高富 栄 (話題提供者)
森本松子 (話題提供者)
東端憲仁 (コメンテーター)
40. 西村 馨 2016 シンポジウム：人は
グループのなかでどう成長するか？—地
域でおこなう児童活動集団療法への統合
的視点— 日本集団精神療学会第33回
大会抄録集，98.
41. 西村 馨・木村能成他 2016 思春期
男子のグループセラピー—別れと旅立ち
のプロセス— 日本集団精神療学会第
33回大会抄録集，45.
42. 野島一彦 2016 心理ミーティングと
エンカウンター・グループの比較検討
日本集団精神療学会第33回大会抄録
集，71.
43. 野島一彦・権 成鉉他 2016 自主
ワークショップ：現代の精神科病院にお
ける入院グループの一形態—グループの
成長と初心セラピストの成長 精神科慢
性疾患の力動的集団精神療法の会— 日
本集団精神療学会第33回大会抄録集，
59.
44. 落合尚美・石附牧子 2016 グループ
における疾患の多様性と意義 日本集団
精神療学会第33回大会抄録集，70.
45. 岡田 瞳・三原聡子 2016 アルコ
ール依存症者を対象とした集団認知行動療
法—うつ病患者との共同プログラムにお
ける治療効果— 日本心理臨床学会第35
回大会発表論文集，408.
46. 岡崎 翼・高桑洋介他 2016 復職，
再就職を目指す方々のためのグループ療
法・第3報 日本集団精神療学会第33
回大会抄録集，81.

47. 大西豊史・青木桃子 2016 児童病棟でのコミュニティミーティングの変化
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 46.
48. 大河内範子 2016 膠原病患者を対象としたサポート・グループ—サポート・グループを通じた心理的支援の可能性—
日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 66.
49. 大島良江・古井由美子他 2016 「摂食障害教室」における心理教育の試み
日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 409.
50. 齊藤万比古 2016 特別講演Ⅱ：児童精神科病棟における入院治療の精神療法的性
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 30.
51. 関 百合 2016 自主ワークショップ：グループアナリシス・体験グループワークショップ—メディアングループのなかで集団と個人を語り合う—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 57.
52. 柴田応介 2016 集団的無意識とその転移について—鶏が先か卵が先か（続）—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 72.
53. 重田理佐 2016 大デイケア内の小デイケア—2重構造と自我境界—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 53.
54. 志方亮介 2016 認知症高齢者を対象としたグループ回想法における行為表現の意味
日本心理臨床学会第35回大会発表論文集, 208.
55. 嶋田博之 2016 シンポジウム：食べて休めば人は育つ—システムズセンターの視点で考える, グループと人の心の成長—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 96.
56. 清水真理・田中徹哉他 2016 小学生を対象としたグループ・プレイセラピーの治療的意義について
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 44.
57. 下石直巳・鈴木稚奈他 2016 不登校児が人と繋がりたいと思える児童期デイケアの取り組み—1対1から次第に集団に—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 78.
58. 菅谷智一・大西豊史他 2016 院外外出に向けたグループダイナミクス—自閉スペクトラム症の小中学生を対象として—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 55.
59. 鈴木理恵 2016 デイケアのミーティンググループで続いた攻撃行動についての考察
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 52.
60. 田原明夫・高林健示他 2016 自主ワークショップ：東日本大震災関係者の相互支援グループ
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 60.
61. 高林健示・小宮敬子他 2016 自主ワークショップ：コンダクターの危機—メンバーが来ない—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 91.
62. 高橋美紀・藤巻加奈子他 2016 自主ワークショップ：集団精神療法としてのサイコドラマ—アクションを用いた集団精神療法を体験する—
日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 68.
63. 高橋 馨・野中 稔他 2016 自主ワークショップ：こうえん—since2008—
日本集団精神療学会第33回大会抄

- 録集, 89.
64. 高良 聖 2016 大会企画ワークショップ：初歩から学ぶサイコドラマーとりあえず体験してみよう— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 34.
65. 武井麻子・小宮敬子他 2016 大会企画ワークショップ：揺れ動く臨床現場におけるグループの挑戦—精神科病院で看護師たちは何ができるのだろうか— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 32.
66. 田辺 等・菅 武史 2016 大会企画ワークショップ：基礎講座 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 31.
67. 田代 順 2016 自主ワークショップ：ナラティブなグループアプローチを体験する(その6)～多声的対話グループによるナラティブな「事例/自例」検討の試み～ 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 94.
68. 寺島 瞳 2016 感情のコントロールが困難な大学生に対する集団認知行動療法—日本におけるSTEPPSの実施可能性と有効性の検証— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 40.
69. 藤堂信枝・高林健示他 2016 自主ワークショップ：戦争体験のシェアリングに向けた試み 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 62.
70. 徳田幸絵 2016 高齢者施設での音楽療法の個人および集団の変化—PAC分析を通して— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 88.
71. 土屋明美・水流恵子他 2016 人生テーマを映す心理劇に生きる個の変容 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 42.
72. 上野陽弘・日吉真樹他 2016 グループの中での職員の『育ち』に関する実践省察—フォーカスグループインタビューで掘りおこす, グループの中での職員の『育ち』の要因とは?— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 80.
73. 牛島洋景・清水真理他 2016 児童精神科病棟でのミーティングから見えてきたもの—仲間関係の特徴についての一考察— 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 47.
74. 渡部京太 2016 大会長講演：ぐるぐるグループ 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 28.
75. 柳橋達彦 2016 児童精神科における個人精神療法と集団精神療法の併用効果 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 48.
76. 山本啓太・岩垂喜貴他 2016 自閉スペクトラム症児の親を対象とした進学・就労についてのガイダンスグループの試み 日本集団精神療学会第33回大会抄録集, 56.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

1. 宮城崇史 2016 『システム・センタード・アプローチ～機能的サブグループで「今、ここで」を探求するSCTを学ぶ～』 集団精神療法, 32(1), 91-92.

F. 海外文献紹介

1. 塚瀬将之 2016 集団精神療法的手法

は統合失調症患者に有効か？—系統的レビューとメタ分析— 集団精神療法, 32 (1), 82-85.

付：「集団精神療法」に関する文献リスト
〔～2015〕の追録

A. 単行本
〔該当文献なし〕

B. 研究論文
〔該当文献なし〕

C. 学会発表
〔該当文献なし〕

D. 翻訳
〔該当文献なし〕

E. 書評
〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介
〔該当文献なし〕

〔お願い〕

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つけれられた方、もれている文献を御存知の方は、筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒352-8501 埼玉県新座市中野 1
-9-6 跡見学園女子大学文学部
野島一彦
TEL 048-478-4252
FAX 048-478-3475
E-mail nojima@atomi.ac.jp
URL <http://nojimakazuhiko.jimdo.com>